

第52回 仙台市広瀬川清流保全審議会 議事概要

◆ 日 時 : 令和6年5月17日(金) 14時00分～15時40分

◆ 場 所 : 市役所本庁舎8階 第五委員会室

◆ 出席者 : 《審議会委員(13名/16名)》

大高 成美	(公社) 仙台青年会議所理事長 (代理: 専務理事 佐藤 浩樹)
川崎 舞	作並温泉旅館組合
坂野 恭子	(公財) 日本野鳥の会宮城県支部副支部長
佐藤 靖祥	仙台弁護士会
○庄子 真岐	石巻専修大学経営学部教授
竹中 篤史	林野庁東北森林管理局仙台森林管理署長 (代理: 次長 竹下 寛知)
千葉 衛	宮城県土木部長 (代理: 河川課長 鈴木 善友)
成田 秋義	国土交通省東北地方整備局河川部長 (代理: 河川環境課長 大平 知秀)
西澤 啓文	北部広瀬川愛護推進協議会
早坂 隆	仙台南地区広瀬川環境美化推進協議会
◎平吹 喜彦	東北学院大学地域総合学部教授
横地 貴子	(一社) 宮城県建築士会仙台支部
吉田 尚	宮城管内町内会長連絡会

《事務局》

佐藤 秀樹	建設局長
鈴木 慎太郎	建設局次長
甲野藤 弘憲	建設局次長
鈴木 江美子	建設局百年の杜推進部長
仲道 雅大	建設局下水道建設部下水道計画課長
佐藤 慎二	環境局環境部環境対策課長
長谷川 蔵人	教育局生涯学習部文化財課長
水嶋 信文	建設局百年の杜推進部百年の杜推進課長
庄司 明浩	建設局百年の杜推進部百年の杜推進課主幹兼広瀬川創生係長
阿部 健太郎	建設局百年の杜推進部百年の杜推進課広瀬川創生係主査
小松 健一	建設局百年の杜推進部百年の杜推進課広瀬川創生係主査
伏見 祐逸	建設局百年の杜推進部百年の杜推進課広瀬川創生係主任

(◎: 会長 ○: 副会長)

◆欠席者 : 高荒 智子委員、福屋 粧子委員、嶺岸 健二委員

<次 第>

- 1 開会
- 2 会長・副会長の互選
- 3 会長・副会長 挨拶
- 4 議事（報告事項）
 - ・仙台城跡災害復旧事業について
- 5 その他（情報提供）
 - ・広瀬川の河川整備状況について
 - ・合流式下水道改善事業および雨水処理施設整備事業について
 - ・広瀬川創生プランの取組みについて
 - ・広瀬川の清流を守る条例 環境保全区域内行為の許可のあらまし
- 6 閉 会

<p>百年の杜推進課長</p> <p>建設局長</p> <p>百年の杜推進課長</p>	<p>1 開会</p> <p>只今より、第52回仙台市広瀬川清流保全審議会を開会する。</p> <p>(局長挨拶)</p> <p>(委員及び事務局の紹介)</p> <p>高荒委員、福屋委員、嶺岸委員は本日所用により欠席との連絡を受けている。</p>
<p>百年の杜推進課長</p> <p>早坂委員</p>	<p>2 会長・副会長の互選</p> <p>この度の審議会は、現委員の任期中、初めての開催となる。そのため、「広瀬川の清流を守る条例施行規則第3条」に基づき、委員の互選によって「審議会に会長及び副会長一人を置く」必要がある。どなたか会長、副会長の推薦等あるか。</p> <p>審議会の前任期中に副会長を務め、経験や実績が豊富で本審議会にも精通している「平吹 喜彦委員」を会長に推薦する。</p> <p>続いて、副会長には仙台市を含め様々な委員会、審議会の委員を歴任し、経験と実績が豊富な「庄子 真岐委員」を推薦する。</p>
<p>百年の杜推進課長</p>	<p>只今「早坂委員」から推薦があったが、委員の皆様、いかがか。</p> <p style="text-align: center;">－異議なしの声－</p>
<p>百年の杜推進課長</p>	<p>異議無しとのことで、会長には「平吹 喜彦委員」、副会長には「庄子 真岐委員」に就任いただく。</p>
<p>平吹会長</p> <p>庄子副会長</p>	<p>3 会長・副会長 挨拶</p> <p>(会長挨拶)</p> <p>(副会長挨拶)</p>

	4 議事（報告事項）
百年の杜推進課長	<p>次第の4「議事（報告事項）」に移る。</p> <p>議事の進行は、「広瀬川の清流を守る条例施行規則第5条第1項」の規定に基づき、議長となる「平吹会長」にお願いする。</p>
平吹会長	<p>本日の会議について、委員全16名のうち、代理出席含め13名の委員に出席いただいております。出席委員が過半数に達していることから、この会議は成立することを報告する。</p> <p>会議の公開・非公開について確認する。本日の議事には非公開となる事案が無いため、公開として良いか。</p> <p style="text-align: center;">－委員了承－</p>
平吹会長	<p>議事録の署名について確認する。アイウエオ順で委員の方1名に代表してお願いしている。今回は「西澤 啓文委員」にお願いしたいが、よろしいか。</p> <p style="text-align: center;">－委員了承－</p>
平吹会長	<p>議事を進める。今回の審議会では報告事項が1件ある。事務局から説明をお願いします。</p>
百年の杜推進課	<p>（報告事項の概要説明）</p>
文化財課	<p style="text-align: center;">【仙台城跡災害復旧事業について】</p> <p>（資料1について説明）</p> <p style="text-align: center;">＜質疑＞</p>
平吹会長	<p>今回の復旧方法で石垣としてはより強固となり、地震に対して強くなるという理解で良いか。</p>
文化財課	<p>おっしゃるとおりである。</p> <p>石垣は文化財であるため、在来工法、江戸時代に作ったやり方で復旧するのが文化財の価値を守るには一番良いが、これまでの大震災、一昨年度の地震でも崩れており、それによって市民生活に影響があったことも踏まえると、現代的な方法も可能な範囲で取り入れて、なるべく崩れにくくすることが求められていることから、今回の仙台城跡の災害復旧についてもそういった考えを基に進めていく。</p>
	5 その他（情報提供）
平吹会長	<p>それぞれの案件について概要の説明をお願いします。</p>
百年の杜推進課	<p>（情報提供項目の概要説明）</p>

宮城県河川課	<p>【広瀬川の河川整備状況について】</p> <p>(資料2について説明)</p> <p><質疑></p>
坂野委員	<p>鳥類のモニタリング調査結果をいただいたが、種数だけでなく羽数も確認して、過去のデータがあればそれと比較することでより詳細な増減の傾向がわかるのではないか。</p> <p>魚類に関してはどのようにするかわからないが、鳥の場合、目視で個体数の確認ができる。繁殖状況についても調べると、より状況がわかると思う。</p>
宮城県河川課	<p>調査した数についてはデータがあるので、次年度以降、そういったデータも付けてもう少しわかりやすい資料にしたいと思う。</p>
庄子副会長	<p>モニタリング調査を行い、今は変化が無いということだが、どの程度変化したら工事を見直すとか、基準があれば教えていただきたい。また、木をどうしても伐採せざるを得ないところもあると思うが、それに合わせて植樹をしているとかあれば教えていただきたい。</p>
宮城県河川課	<p>河川管理者としては、地域の皆様にもいろいろな声があり、まずは安全の確保ということで河道の掘削は必ず必要だと思っている。その上で、自然環境に配慮し皆伐は一度に行っていない。</p> <p>一度に全て伐採してしまうと鳥の住処が無くなるため、段階的に場所を移動しながら施工し、鳥の住処を守りつつ安全を確保するというようなことを広瀬川管理計画でまとめ、それに沿って工事を進めている。</p> <p>植樹について、どこの河川もそうだが伐採しても自然にヤナギがどんどん生えてくるため、行っていない。</p> <p>広瀬川は高水敷が多く、そういったところを公園化しているのがほとんどであり、観賞用の樹木はそちらに植えられている。</p>
平吹会長	<p>2点ほど伺う。</p> <p>広瀬川の管理計画について、計画を立ったり見直しするための市民の皆さんや行政の方も含めた委員会のようなものが日常的に開催されているというふうに理解したが、それでよろしいか。</p> <p>もう1点は、河道掘削を行う時には当然、土砂を削ってどこかに持っていくことになるが、その削り方にはいろいろあるのではないかとということで、例えばワンドを造ったり、あるいは親水空間として緑化フェアの際に設置した、せせらぎ水路のような水辺等を合わせて作るといった総合的な対策みたいなことが可能か、教えていただきたい。</p>
宮城県河川課	<p>1点目について、作成当時は協議会を開いていたが、作成後はこの計画に基づき管理を行っており、特に年1回といった継続的に会を開催するようなことはやっていない。</p>

<p>坂野委員</p>	<p>掘削の仕方について、7ページにお示ししているが、どうしても川の真ん中にある中州というのは洪水処理上、大きな障害となってしまうため、可能な限り取ることになっている。</p> <p>一方で、河岸の木で残せるものはなるべく残しましょうというところで掘削をかけるが、低水敷は護岸が張ってあり、掘ると河岸が出てくるのでワンドを作ろうと思うと中州の土を残さなければならないという問題がある。そのため、ワンドを造るというのはなかなか厳しいところである。</p> <p>一方で、魚の休憩場になるような河岸沿いの樹木は魚つき林として可能な限り残すよう、現場の方で工夫していると聞いている。</p> <p>工事計画の中には入っていないが、今頃になると千代大橋のあたりに仙台市の鳥であるカッコウがやってくるため、毎年そこで探鳥会をやっている。しかし、この河川工事の影響かはわからないが、カッコウがいなくなった。カッコウの声は一体どこで聞けるかという、泉ヶ岳まで行けば大丈夫だが、以前は長町あたりの住宅地でも聞こえていたと思う。</p> <p>最近、カッコウの声を聴いたことがある人は少ないのではと思う。そのため調査項目にカッコウが入っていないような気もするので、仙台市の鳥なので住みやすい環境を保全してもらえれば良いと思う。</p>
<p>下水道計画課</p>	<p>【合流式下水道改善事業および雨水処理施設整備事業について】 (資料3について説明)</p> <p><質疑></p>
<p>平吹会長</p>	<p>非常に大掛かりな雨水を流す対策を取られていて、その対策によって汚水の混じった水が広瀬川に流れる確率も減ってくるのかなというふう感じた。</p> <p>一方で、昨今の気候変動で大雨が降るようになり、例えば京都では雨庭、レインガーデンを整備し雨を地面に浸透させるという取り組みを盛んに行っているようである。また、緑化には雨の勢いを止たり流出時間を遅らせる働きもあり、地味だけど市民にも出来る取り組みがあるのではないかと思う。市民参加型の施策も取り入れた総合的な対策の状況についてお聞きしたい。</p>
<p>下水道計画課</p>	<p>国土交通省の方で「流域治水」という考え方を打ち出しており、今までは下水道管をどんどん整備して流す、ダムを造って貯めるといったことを進めてきたが、最近の気候変動にはそれだけでは対応できないということで、流域に係る全ての人が、流す・貯めるだけでなく、住まい方を考える、被害を最小限に抑えるといった様々な取り組みをまとめて行うことを進めている。</p> <p>それを受けて、市の方でも流域治水をどう進めるか検討するため、昨年度には市の全ての局長・区長が入る雨水対策委員会の中に流域治水検討部会というものを作り、そこで宮城野区の福田町周辺、具体的には梅田川と七北田川に挟まれたエリアをモデル地区として様々な流域治水の施策を進めていく方針を決め、今年度からモデル事業を進めている。</p> <p>その流域治水のための様々な施策は、下水道部署だけでなく他の部署も集まり、</p>

	<p>それぞれが出来ることを考えているところである。今お話しがあった雨庭についても検討に含まれており、モデル地区の中で出来る場所があれば実施し、難しければ難しい理由と、どういう条件でどういう場所であれば出来るのか整理するよう工夫して取り組んでいるところである。</p> <p>今回のモデル事業の特徴としては、できるだけ市民の皆様にも考えていただき、協力を貰いながら進めるというものであり、今後、しっかりと情報発信していきたいと考えている。</p>
<p>坂野委員</p> <p>下水道計画課</p>	<p>4ページに、いろいろな汚染等の問題が書いてあるが、これは今、水質が悪化しているということなのか。また、今回の分流地区からの汚水の流入を防ぐ工事というのは、今、悪化しているからそれを止めるために行うということなのか。そういった様なことも、水質のモニタリングは、ちゃんとしているのか。</p> <p>合流式下水道の問題については、世界的・全国的な問題であり、これを完全に無くすには合流式で整備されたところ全てを分流式に変える以外、無いということである。その場合、この黄色で書かれたエリアの道路全てにもう一本、下水道管を入れることになるが、それだけでは済まず、このエリアの中の建物全ての配管を汚水と雨水の2系統にさせていただく必要がある。また、それについては公共事業ではなく、建物の所有者に行っていただく必要があり、これを進めるとなると、おそらく100年200年経っても中々、整備効果は発現しないと思われる。そういったことから、国土交通省では合流式下水道改善の考え方を示しており、市ではその考え方にに基づき、計算式で求められるある一定の汚れの量以下とするよう、様々な施策を進めているところである。</p> <p>今回の中央第4号幹線もその1つであり、それ以外の施策も進めているところである。</p> <p>モニタリングについて、国土交通省の方で合流式改善を進めるための法改正を行った際、年1回雨天時のモニタリングを定めたことから、毎年、水質検査を行っている。ただ、雨の降り方は毎回違うため、この数字だから大丈夫というのは中々、判断しにくいところがある。</p> <p>なお、継続してモニタリングを行っているが、数字上は大きく悪いというものでなく、この工事が進めばさらに良くなるものと考えている。</p>
<p>百年の杜推進課</p>	<p>【広瀬川創生プランの取組みについて】 (資料4について説明)</p> <p><質疑></p>
<p>庄子副会長</p>	<p>推進体制のところについてお尋ねする。</p> <p>5ページのところに広瀬川での活動団体とあり、いろいろな活動団体がいると思われるが、その方たちが一斉に集まって情報共有するような場はあるのか。また、広瀬川創生プラン策定推進協議会というのがあるが、協議会の方は活動団体と重複しているか。</p>

百年の杜推進課	<p>活動団体が集まる場合は市では設けておらず、各団体で連絡・調整を取りながら活動いただいている。</p> <p>広瀬川創生プラン策定推進協議会の委員については審議会と似た様なところはあるが、学識経験者、河川管理者のほか、一部活動団体の方にも入っていただいております、協議会で得た情報を基に各団体と繋がっていただければという期待も込めて構成を考えている。</p>
庄子副会長	<p>プランに情報の集約と発信とあるが、市は広瀬川での活動団体を、およそ把握しているということか。</p>
百年の杜推進課	<p>把握している。</p>
庄子副会長	<p>各団体と連絡は取り合っているか。</p>
百年の杜推進課	<p>各種イベントの相談を受けたり、こちらからイベントの相談をすることもある。</p>
成田委員代理 (大平課長)	<p>7ページから9ページの取組の紹介があり、その後、R5年度は68事業実施という説明だったかと思うが、紹介のあった3件の他にトータルで68件あるということか。</p>
百年の杜推進課	<p>令和5年度全体で68件である。</p>
成田委員代理 (大平課長)	<p>広瀬川や仙台市のホームページの中で、取組みの一覧や内容が公開されているか。</p>
百年の杜推進課	<p>広瀬川創生プラン策定推進協議会の資料として各年度の一覧表を作成しており、そちらを確認できる。</p>
成田委員代理 (大平課長)	<p>参考に、先ほど宮城県さんの説明の中で、今年は積雪が少なくという話があったが、もともと仙台市周辺は豪雪地帯ではないが、やはり今年、特に2月頃は雪が少なく、気温も凄く高かったことを記憶されていると思う。</p> <p>これは、仙台市・宮城県内だけでなく、東北全域、秋田、山形の豪雪地帯と言われているところも2月は凄く雪が少なく、国土交通省で管理しているダム周辺でも例年の半分程しか積雪が無いという状況で、今現在、広瀬川でも川の流量がだいぶ少なくなっている状況にある。</p> <p>昨日は少し雨が降ったが、今日から晴れてきて、明日以降も気温が凄く高くなるということで、渇水が心配されるため情報提供する。</p> <p>渇水になれば農業用水へ影響が出たり、水道水の取水制限までいけば非常に被害が出るかもしれないが、今後の天気予報に注意いただければと思う。</p>
平吹会長	<p>その他、委員の皆さんから何かあればお願いします。</p> <p>それでは、これで議事の一切を終了し、進行を事務局にお返しする。</p>

百年の杜推進課長	<table border="1"><tr><td data-bbox="395 145 534 197">6 閉会</td></tr><tr><td data-bbox="395 197 1489 333">長時間にわたる審議、ありがとうございました。 以上をもちまして、第52回仙台市広瀬川清流保全審議会を閉会する。</td></tr></table>	6 閉会	長時間にわたる審議、ありがとうございました。 以上をもちまして、第52回仙台市広瀬川清流保全審議会を閉会する。
6 閉会			
長時間にわたる審議、ありがとうございました。 以上をもちまして、第52回仙台市広瀬川清流保全審議会を閉会する。			

この議事録について、会議の内容に相違ないことを認めます。

令和 年 月 日

仙台市広瀬川清流保全審議会署名委員

会 長 _____

委 員 _____